



ほたる

◆建設的な生き方へのお手伝い (Just do it!) ◆
～あなたの悩み事は当社までご相談下さい～
【今月の一冊】 仕事は輝く
犬飼ターボ 著 飛鳥新社
ホームページ URL <http://primecorporation.jp/>

発行日 2017年12月1日 Vol. 182
発行元 有限会社プライム・コーポレーション
ライフコンサルタント 渡邊敏徳
〒401-0015 山梨県大月市大月町花咲147番地
TEL 0554-22-2810 FAX 0554-22-2859

ステークホルダー

私たちの日々の生活の中には決断を迫られることがたくさんあります。その中のひとつに「責任の取り方」があります。

私が特に気になるのが、プロサッカーの世界です。結果がすべてですが、ファンやスポンサーから望まれる成績を残せなければ、監督やコーチは責任を取る必要があります。辞任か続投かという選択がありますが、どんな基準をもって選択を決断すればよいのでしょうか？

J1リーグの大宮アルディージャは、シーズン残り3試合の時点で監督と強化本部長が交代し、今シーズンだけで2度目の監督交代となりました。

「辞める」ということで責任を果たす方法と、「残って」チームを再建するという責任の取り方があると思います。スポーツの世界だけでなく、ビジネス社会でも判断の是非を問われる場面がたくさんあります。どちらが正しいのかはいろんな考え方があると思いますが、やはり“結果”が証明してくれるのではないのでしょうか。しかし、結果が出るまでにはかなりの時間がかかるケースが多いと感じます。

責任の選択を迫られた場合、最も重要視すべきことは、それらを取り巻く関係者の反応ではないかと思うのです。スポーツ界であれば、ファンやサポーターの声を特に重要視する必要があります。「ステークホルダー」が大きなカギを握っていると思います。

「ステークホルダー」の意味は、企業経営における利害関係者です。株主・経営者・従業員・顧客・取引先はもちろん、金融機関や競合企業、地域社会や行政機関等も含まれます。

スポーツ界もビジネス社会も、顧客や従業員、得意先や地域社会など、数多くのステークホルダーによって支えられています。この人たちを無視して意思決定することはとても危険な行為です。もしも傲慢な態度で突き進めば企業のイメージが傷つき、スポンサーとの契約更新の打ち

切りや顧客の減少など大きな影響が企業に及びます。

いろんな問題を繰り返している相撲界においても、対応を間違えると取り返しのつかない事態に陥ってしまうおそれがあります。

責任のある立場の人がとる行動はとても重要です。リーダーシップを大いに発揮して欲しいものです。



無断キャンセル

忘年会シーズンで一番のかき入れ時ですが、2,3年ほど前から「無断キャンセル」が目立ち始めているそうです。「無断キャンセル」には、複数の店を予約しておき、当日になって行く店を決めるという悪質な例もあると言います。

全国の飲食店にネット予約の管理サービスを提供している会社によると、2013～2017年の予約データ約2,205万件のうち、キャンセルは約204万件。このうち「無断キャンセル」は約19万件でキャンセル全体のほぼ1割に上っています。

「企業の飲み会が減り、キャンセル時のマナーを知らない人が増えた。また予約客が店と直接やりとりしないネット予約が普及し、店側の損害をイメージしにくくなった」などの理由が推測されます。函館市内のホテルでは、外国人客が増加した5年ほど前から「無断キャンセル」が目立つようになり、「外国人団体客が来ず、1日で約20万円の損失」が出た悪質なケースもあるそうです。

もう“マナーを守る”域を超えている状態です。人としてやらなければいけないことはきちんとやり、新しい年を迎えたいものですね。今年も1年“ほたる”をお読み頂きありがとうございました。



【座右の銘にしたい名言】



過去ばかり振り向いていたのではダメだ。自分がこれまで何を
して、これまでに誰だったのかを受け止めた上で、それを捨て
ればいい。

(スティーブ・ジョブズ/米国の実業家、アップル創業者)

◇ 年末年始の営業 平成29年12月30日～平成30年1月4日までお休みとなります。